ビムラー矯正（バイオビムラー研究会）

製作と機能・調整方法

3次元対応
非抜歯可撤式矯正装置の勧め

小児の健康な発育には食育、睡眠、咬合等の管理が不可欠です。
咬合は小児期に適切な管理をすることにより　ワイヤーを使う抜歯矯正の必要がなくなります。子供に負担のない可撤式装置（ビムラー）を夜間10時間使用するだけ　特別な 技術も必要ありません。
う蝕・顎関節症・睡眠時無呼吸の予防にもなります。
今回はビムラーの他に、食育、睡眠、子供の成長に必要な分野の説明も致します。
年5回会員用フォローアップコース開催しています。

会長　池尻　良治
日本小児矯正歯科学会会長
国際睡眠時無呼吸アカデミー会長
ライトタッチレーザー研究会会長

副会長　上杉　兼真
日本小児矯正歯科学会理事
日本抗加齢医学会専門医
国際歯周内科学会研究会認定医・評議員
オーソモレキュラー栄養医学研究所認定講師

2025年度　開催日程

時間　10：00～13：00

開催日

2025年 6月22日（日）、 9月 7日（日）、11月 9日（日）

Zoomにて開催

開催方法　　**オンラインネット配信**

参加費　2万円

後援：日本小児矯正歯科学会

2025年

QRコードからお申し込みください

℡０７４５-４３-８１１２

振込先　南都銀行　王寺支店　普通 2195952　コドモノスイミントカミアワセヲマモルカイ

リジ　ウエスギ　ケンシン

振込手数料は各自ご負担下さい。**２週間前迄**のキャンセルは返金保証、それ以降は返金できません。

講習会の録音、撮影は厳禁です。ご了承の上お申し込みください。

ビムラー矯正とは

抜歯がありません。　１日１０時間夜寝る時着けるだけです。
違和感が少なく目立ちません。

ビムラー矯正の適齢期は　大人の上の歯が2本　下の歯が4本萌出した頃です。
夜寝る時に可撤式のビムラー矯正装置を　1日10時間装着することにより　痛みも違和感もなくきれいな歯並びになります。

一般に成人してからの矯正装置は　抜歯をしたり　ワイヤーを入れて時間をかけ調整するもので　日中も矯正装置を外せない為　装着していることが他人から見てわかります。不自然な治り方やう蝕　あと戻りをすることもあります。また1日中装置が口腔内に入っているので、不快に感じ大切な成長期に食事がしにくくなります。ワイヤー矯正で抜歯することにより　舌の入る場所が狭くなります。それによって将来　睡眠時無呼吸　顎関節症などの症状が出たり、不定愁訴が起こることがあります。子供の適正な時期にビムラー矯正を開始することにより、自然な歯並び　口元になります。

見た目で歯列不正があると　狭窄歯列弓になっている可能性があります。また口呼吸の可能性もあります。ビムラー矯正を適正な時期に始めることにより、アレルギー性鼻炎・睡眠時無呼吸・鼻閉塞・口腔習癖（指しゃぶり・吸舌癖・咬唇癖・口呼吸・睡眠態癖）などの予防になります。歯列・咬合の異常が改善され口唇乾燥・オトガイ緊張・開咬が改善し集中力が付きます。

ビムラー矯正は後戻りが少ないことが特徴ですが
成長期が終わるまで使う必要があります。
正しい食生活・運動・睡眠をとり1日に10時間装着し
きれいな歯並びを作りましょう。